

令和2年度一般会計当初予算のポイント

I 令和2年度一般会計の姿

- ★ 令和2年度一般会計当初予算の規模は、対前年度比18億8千万円・2.6%減の713億7千万円。過去最大規模であった令和元年度に次ぐ予算計上。

	R2	R1	H30
当初予算額	713億7千万円	732億4千万円	691億6千万円
対前年度比	-2.6%	+5.9%	+8.7%

- なお、国の令和2年度一般会計予算伸び率 +1.2%
 令和2年度地方財政計画（通常収支分見込み）伸び率 +1.3%程度

II 歳入

- ★ **市税**は、固定資産税、個人市民税の増等が見込まれ、対前年度比4億2千万円・1.9%増の222億4千万円。

	R2	R1	H30
当初予算額	222億4千万円	218億3千万円	211億1千万円
対前年度比	+1.9%	+3.4%	-1.1%

- ★ **地方交付税**のうち、普通交付税においては、本市における基準財政需要額及び基準財政収入額の推計、及び、短期償還分（元金）32億7千万円を加算し、特別交付税と合わせて前年度比11億3千万円・7.1%増の170億7千万円。

- ★ **市債**は、北部学校給食センター建設事業、鎌田中学校校舎改築事業の減等により、対前年度比23億3千万円・28.3%減の59億1千万円。

うち、臨時財政対策債は、対前年度比 6 億円・28.6%増の 27 億円
合併特例事業債は、対前年度比 26 億 8 千万円・48.7%減の 25 億 4 千万円
(発行期限：令和 6 年度)

- ★ **市債借入残高**は前年度末見込み額 473 億円に対し、借入額 59 億 1 千万円、償還額 97 億 2 千万円を反映、令和 2 年度末見込み額 434 億円、39 億円の減。
平成 30 年度末 477 億円

※臨時財政対策債除く市債残高

令和 2 年度末見込み額 228 億円
平成 30 年度末 290 億円

- ★ **財政調整基金繰入金**は、集中投資期間終了に伴う大規模事業の減等により、対前年度比 20 億円減の 30 億円を計上。

Ⅲ 歳出

- ★ **消費的経費**は、対前年度比 4 億 4 千万円・0.9%増の 489 億 2 千万円。**投資的経費**は、対前年度比 32 億円・37.2%減の 53 億 9 千万円。**その他の経費**は、対前年度比 8 億 8 千万円・5.4%増の 170 億 5 千万円。

※消費的経費について

- ・ **人件費**については、主に会計年度任用職員制度に伴う給料の増額等により、対前年度比 19 億円・18.1%増の 124 億 3 千万円。
- ・ **物件費**については、会計年度任用職員制度に伴う賃金の減額等により、対前年度比 17 億 9 千万円・17.2%減の 85 億 9 千万円。
- ・ **扶助費**については、介護給付費等給付事業費、障害児通所支援事業費の増額等により、対前年度比 3 千万円・0.2%増の 166 億 8 千万円。
- ・ **補助費等**については、松阪地区広域消防組合分担金、松阪地区広域衛生組合分担金の減額等により、対前年度比 1 千万円・0.1%減の 100 億 3 千万円。

※投資的経費について

- ・ **普通建設事業費**については、北部学校給食センター建設事業費、鎌田中学校校舎改築事業費の減額等により、対前年度比 32 億円・37.3%減の 53 億 8 千万円。

※その他経費について

- ・ **公債費**については、対前年度比 7 億円・7.6%増の 99 億 5 千万円。
【短期償還分（元金）46 億 7 千万円。】
- ・ **繰出金**については、主に、介護保険事業特別会計繰出金、後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増額等により、対前年度比 1 億 7 千万円・2.5%増の 69 億 1 千万円。

IV 主な財政指標

★ 一般財源総額

465 億 6 千万円（令和元年度＝440 億 5 千万円 対前年度比 +5.7%）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）上の対前年度比 +1.2%

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債と県からの交付金の合計をいう。

★ 一般財源比率

61.5%（令和元年度＝57.3%）

なお、地方財政計画（通常収支分見込み）では 66.4%程度

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税と県からの交付金の合計をいう。